

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	秋田県町村電算システム共同事業組合		代表者名	管理者 松田知己	
担当者部署	業務課		連絡先電話番号	018-883-1437	
担当者役職	主任	担当者氏名	佐藤聡紀	連絡先E-mail	*****
住所	010-0951 秋田県秋田市山王四丁目2番3号				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	田中 淳一
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	これまでも研修会を企画してきましたが、研修すること自体が目的となっていて、実際に成果として何を求めるのかを考えてきていなかったことに気づかせていただきました。企画した目的を達成するための第1ステップとして今回の研修で何を求めるのか考えることの重要性を教えてくださいました。
アドバイザーへの要望事項	特になし

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（応募依頼より）	支援内容（応募依頼より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年8月28日	支援・助言	無		
			開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			13時30分	14時30分	
			活動時間（分）	60	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	---------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	事務局職員	1人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	研修を企画した目的があったものの、あくまでも最終的な目的であり、実際に今回の研修会を通じてどのようなことを伝えたいのか、どのようになって欲しいのか企画した事務局として考えていなかったこと	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	研修会のゴールを設定すること。	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	事前に提出したヒアリングシートを基に、どのような受講者が対象で、DXに向けた現状の整理（現状から段階を踏んでどのような状態を目指すか）の仕方や研修のゴール設定の仕方などのアドバイス。	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	企画する側もただ依頼するのではなく、目的の基にどのようなゴールを設定するか考えること。	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)		
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿		

なお、〈その他〉を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意下さい

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。